



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月31日

上場取引所 東 札

上場会社名 株式会社 トーモク

コード番号 3946 URL <http://www.tomoku.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 斎藤 英男

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 内野 貢

TEL 03-3213-6811

四半期報告書提出予定日 平成24年11月8日

配当支払開始予定日

平成24年12月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	64,263	7.7	681	8.4	978	7.7	309	△42.9
24年3月期第2四半期	59,682	△1.8	628	△41.6	908	△13.9	542	45.3

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 △202百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 41百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	3.31	—
24年3月期第2四半期	5.80	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	110,457		43,440			38.1
24年3月期	112,277		43,951			37.8

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 42,048百万円 24年3月期 42,418百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
25年3月期	—	3.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	150,000	8.0	8,000	16.7	7,900	11.0	4,100	5.1	43.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	96,707,842 株	24年3月期	96,707,842 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	3,212,394 株	24年3月期	3,207,674 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	93,498,788 株	24年3月期2Q	93,506,321 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しました。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載した業績予想等の将来に関する記述は、当社が本資料の発表日現在において入手している情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1. 当四半期に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）は、震災の復興需要など内需が牽引し国内経済は緩やかに回復してまいりましたが、欧州の債務問題、米国や中国の景気減速による成長の鈍化、長期化する円高等の影響により、国内景気の先行きに不透明な状況が続きました。

その中で当第2四半期連結累計期間の売上高は64,263百万円（前年同期比7.7%増）、経常利益は978百万円（前年同期比7.7%増）、四半期純利益は309百万円（前年同期比42.9%減）となりました。

セグメントの業績は次の通りです。

〔段ボール〕

段ボールにおいては、飲料等の加工食品向けや通販・宅配向けの需要が伸びましたが、全体としてはほぼ前年並みの水準で推移しました。

当社グループの段ボール生産量は、連結子会社として大一コンテナーが新たに加わり増加いたしました。当社の主力工場である館林・小牧両工場の生産能力の強化を進めるとともに省電力化対策として工場内照明のLED化や今夏の猛暑・節電対応にも生産シフトの変更や休日対応等能動的に取り組んでまいりました。また、お客様の高度で多様化したニーズにお応えするために生産力の強化や品質面での一級品作りに積極的に取り組むとともに昨年の震災で被災した仙台工場の業績の回復に努めました。この結果、売上高は40,431百万円（前年同期比6.5%増）となり、営業利益は3,396百万円（前年同期比18.6%増）となりました。

〔住宅〕

住宅においては、東日本大震災の被災住宅の再建などの復興需要やフラット35Sの金利優遇措置が再導入されたこともあり新設住宅着工戸数は前年同期比微増となりました。スウェーデンハウスの強みである高气密・高断熱による省エネ性能をアピールして販売に努めた結果、売上高は12,900百万円（前年同期比9.4%増）、また売上が下半期に集中し上半期はコストが先行するという住宅の特性もあり、営業損失は3,069百万円（前年同期は営業損失2,505百万円）となりました。

〔運輸倉庫〕

運輸倉庫においては、夏場の猛暑により飲料部門を中心として取扱数量が増加しました。燃料価格が大きな変動もなく推移する中で、生産性の向上やコスト削減に努めた結果、売上高は10,931百万円（前年同期比10.2%増）、営業利益は709百万円（前年同期比11.7%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

総資産は、現金及び預金の減少などにより、前連結会計年度末比1,819百万円減少し110,457百万円となりました。負債は、1年内返済予定の長期借入金の減少などにより前連結会計年度末比1,309百万円減少し67,017百万円となりました。純資産は前連結会計年度末比510百万円減少し43,440百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しとしては、欧州の財政問題や新興国の経済成長の鈍化による世界的な景気の減速懸念のなか、先行き不透明な経営環境が続くものと予想されます。

その中で通期の連結業績予想につきましては、平成24年5月7日に発表いたしました業績予想の達成に引続き努めてまいりますので、これを変更しておりません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ14百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,653	6,844
受取手形及び売掛金	25,030	27,804
たな卸資産	9,950	12,266
その他	4,775	5,341
貸倒引当金	△81	△48
流動資産合計	54,327	52,208
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	15,310	15,186
機械装置及び運搬具(純額)	11,578	11,536
土地	18,136	18,369
その他(純額)	1,268	1,598
有形固定資産合計	46,293	46,690
無形固定資産		
投資その他の資産	529	498
投資有価証券	7,131	7,010
その他	4,351	4,438
貸倒引当金	△355	△389
投資その他の資産合計	11,127	11,060
固定資産合計	57,949	58,248
資産合計	112,277	110,457

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,880	13,437
短期借入金	2,506	2,521
1年内返済予定の長期借入金	12,512	6,404
未払法人税等	1,840	1,604
賞与引当金	1,781	1,726
その他の引当金	377	318
その他	8,419	11,664
流動負債合計	42,319	37,677
固定負債		
長期借入金	18,158	21,585
退職給付引当金	2,669	2,718
その他の引当金	669	597
その他	4,508	4,438
固定負債合計	26,007	29,340
負債合計	68,326	67,017
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,669	13,669
資本剰余金	11,138	11,138
利益剰余金	18,174	18,204
自己株式	△664	△666
株主資本合計	42,318	42,346
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	271	63
繰延ヘッジ損益	216	109
為替換算調整勘定	△387	△470
その他の包括利益累計額合計	100	△297
少数株主持分	1,532	1,391
純資産合計	43,951	43,440
負債純資産合計	112,277	110,457

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	59,682	64,263
売上原価	48,761	52,469
売上総利益	10,920	11,794
販売費及び一般管理費	10,291	11,113
営業利益	628	681
営業外収益		
受取利息及び配当金	127	89
持分法による投資利益	220	329
雑収入	343	230
営業外収益合計	690	649
営業外費用		
支払利息	281	219
雑損失	129	133
営業外費用合計	410	352
経常利益	908	978
特別利益		
保険差益	—	22
負ののれん発生益	50	—
投資有価証券売却益	20	—
特別利益合計	71	22
特別損失		
投資有価証券評価損	4	187
固定資産処分損	35	69
減損損失	53	19
災害による損失	34	—
その他	—	6
特別損失合計	128	283
税金等調整前四半期純利益	850	716
法人税、住民税及び事業税	1,200	1,457
法人税等調整額	△845	△942
法人税等合計	354	515
少数株主損益調整前四半期純利益	496	201
少数株主損失(△)	△46	△108
四半期純利益	542	309

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	496	201
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△137	△206
繰延ヘッジ損益	△147	△107
為替換算調整勘定	△170	△87
持分法適用会社に対する持分相当額	1	△3
その他の包括利益合計	△454	△404
四半期包括利益	41	△202
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	108	△88
少数株主に係る四半期包括利益	△66	△114

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	段ボール	住宅	運輸倉庫	計		
売上高						
外部顧客への売上高	37,972	11,787	9,922	59,682	—	59,682
セグメント間の内部売上高 又は振替高	150	—	1,670	1,820	△1,820	—
計	38,122	11,787	11,592	61,502	△1,820	59,682
セグメント利益又は損失(△)	2,863	△2,505	634	992	△363	628

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△363百万円には、セグメント間取引消去23百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△387百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	段ボール	住宅	運輸倉庫	計		
売上高						
外部顧客への売上高	40,431	12,900	10,931	64,263	—	64,263
セグメント間の内部売上高 又は振替高	252	5	1,678	1,936	△1,936	—
計	40,683	12,905	12,610	66,200	△1,936	64,263
セグメント利益又は損失(△)	3,396	△3,069	709	1,036	△355	681

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△355百万円には、セグメント間取引消去24百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△379百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。